

# なかの 市議会だより

10月号

平成27年10月15日発行  
No.42

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会  
 ●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)

10th  
中野市合併10周年



▲オープニングでの「日和山神社鬼獅子」

## 10th 中野市合併10周年記念式典

●市政一般質問	その他	決議	意見書案	人事案	事件案	決算案	予算案	条例案	●議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会	
	38件	1件 可決	1件 可決	1件 修正可決	1件 議決不要	2件 可決	1件 同意	2件 可決		10件 認定	8件 可決	3件 可決	24日間

9月定例会



中野市人口ビジョン（案）  
について

原澤 年秋

**質問** 目指す将来人口の妥当性はどうか。

**答弁** 目標設定にあたっては、国の長期ビジョンに準じた推計条件で決定したものであり、県の人口ビジョンともおおむね整合が取れている。国立社会保障・人口問題研究所が推計した二

〇四〇年の人口を約2千600人増加させる目標人口を実現するために、様々な施策に積極的に取り組む。また、関係団体、企業等と連携・協力して総合戦略の推進に取り組み、市民の皆様にも地域の活力維持について、身近に考えていただく必要

がある。

**質問** 合計特殊出生率・有配偶率の向上対策はどうか。

**答弁** これまでよりも踏み込んだ支援策として、婚活支援の充実や子育て一貫支援体制の構築等に取り組む。

**質問** 市内の防犯カメラの設置状況はどうか。

**答弁** 市が設置している防犯カメラは、公共施設6施設に15台ある。市の施設以外の設置状況は把握していない。

**質問** 防犯カメラ設置の必要性はどうか。

**答弁** 犯罪の防止や犯罪捜査に有効な設備と考えているが、一方でプライバシー保護の観点から、慎重に対応すべきと考える。

防犯カメラの設置について

**質問** 防犯カメラの設置及び運用に関する条例の制定

はどうか。

**答弁** 必要に応じて検討する。



移住促進策について

芦澤 孝幸

**質問** 人口減少対策として、Iターン・Uターンの受け入れ、移住者対策が不可欠と考えるが、現在、市への問い合わせ状況はどうか。

**答弁** 移住希望者からの本市への問い合わせについては、本年度8月末までで、4人の方が直接本市を訪問され、そのうち、希望され

た2人の方に、市内をご案内した。

**質問** 移住者に対する補助制度はどうか。

**答弁** 移住者に対する補助制度については、現在のところない。

**質問** 今後の取り組みをどう考えるか。

**答弁** 今後の取り組みについては、計画的に移住セミナーへ参加するとともに、地域おこし協力隊員による本市の魅力のPRや、相談を受けた方への積極的なアプローチなどで、移住につ

なげたい。

空き家対策について

**質問** 今年5月、いわゆる空き家対策特別措置法が全面施行され、本格的に空き家をどうしていくか、方針や計画を立て、実施していくこととなった。空き家調査には、固定資産税情報の内部利用も許されることとなつているが、空き家の把握に対する考えはどうか。

**答弁** 市内の空き家等の実態を把握するに当たり、本

年度中に各区へのアンケート調査を実施し、空き家の状態を調べ、市職員による現地調査を行い、データベースの整備等、正確な情報を把握するための必要な措置を講じたい。

**質問** 放置された危険な空き家を行政が「特定空き家」として、強制的に解体もできるが、解体経費等の考えはどうか。

**答弁** 行政代執行が行われた場合の費用については、市が一旦は負担し、所有者等へ請求を行う。



中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針(案)について

質問 小学校の統廃合に關

しては、それぞれの地域ごとに、大きな温度差、考え方があってと思うが、市民説明会の反応はどうか。

の過疎化等に不安を感じるなどの意見がある一方、多様な人間関係の中で育っていくことが大事などのご意見をいただいている。

その他の質問  
都市と農村交流支援事業について  
中央広場公園について

る。どう受け止めるか。

質問 市では把握していない。

新市庁舎建設整備及び旧中野高校跡地の利活用等について

質問 新築計画を撤回し、旧中野高校跡地に市庁舎移転等有効活用を図るべきだ。

質問 新庁舎建設整備基本計画に沿って進めたい。

質問 大型事業で約44億円増額になり市財政は一層大変になる。市長は、旧中野高校跡地の教室棟等を取り壊す考えか。事業費はいくらと試算しているのか。

質問 解体撤去等、2億9千600万余円を試算している。

その他の質問

小・中学校のあり方及び通学路の安全確保等教育・保育行政の充実強化について

住宅及び商店のリフォーム支援について



プレミアム付「元気がでる商品券」販売と対応について

青木豊一

質問 販売及び活用実態は。

質問 子育て世帯の購入者は31人、販売額は4千160万円。一般販売購入者は122人、購入額は1億6千840万円だ。

質問 希望者全員に販売できなかった原因と対応は。

質問 1人の販売限度額が30万円、世帯人数分の購入が可能のため1世帯当たりの購入額が高額になり、販

売方法が先着順でもあった。

質問 3月議会議案質疑で、1人30万円では購入希望者が買えず、危険を指摘したが、改善しなかった結果、こういうことになり、責任は市長にあるのではないか。

質問 市民の皆さんにはご心配、ご心労、負担をかけた深くお詫び申し上げます。

質問 こういう結果は市長に責任があるのではないか。

質問 販売前に再検討したが、当初計画通りとした。本意を、深くお詫びする。

質問 購入者の最高額は、240万円である。

質問 240万円購入者の住所、家族構成を知っているのか。

質問 市内の身重の女性は「中野市の恥をさらけ出したように思う」と嘆いてい

市議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

市政を知る良い機会です。みなさん議会傍聴にお出かけください。





**中野市立小学校及び中学校  
適正規模等基本方針（案）  
について**

保科 政次

**質問** 学校の規模が学力や学習態度に及ぼす効果はどうか。

**答弁** 小規模の学校については、より一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やか

な指導ができる反面、集団の中で多様な考え方に触れる機会や、切磋琢磨する機会が少なくなると言われている。規模が大きな学校になると、集団の中で多様な

考え方に触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、個々の能力を伸ばしやすうと言われている。

**質問** 教員配置や施設整備はどうか。

**答弁** 教員配置については、学級数により、教員の配置数が定められており、現在も必要に応じ、市独自で支援員を配置しており、今後子どもたちへの細やかな配慮に努めていく。

**質問** 通学面における支援はどうか。

**答弁** 子どもたちの安全・安心を確保することはとても重要であり、通学路の改修及びスクールバスの弾力的運用や配置等、必要な支援を行っていききたいと考えている。

**質問** パパ・ママ育児プラズ制度等の育児休業取得はどうか。

**答弁** 母子健康手帳の発行時に、県が作成した「これからパパ」における育児応援ハンドブック「ながの育男手帳」を配布し、育児休業の取得について周知しているが、育児参加が増えるよう、広報なかの等で周知啓発を進めていく。



**電力自由化への対応について**

町田 博文

**質問** 中野市の施設における電力自由化の導入見通しはどうか。

**答弁** 現在、導入に有効な施設の選別、軽減される電気料、業者選定方法を含めた入札・契約方法等について最終的な検討を行っている。来年1月を目途に導入したい。

**質問** どの程度の施設を予定しているか。

**答弁** 市直営の高圧受電施

設が44施設あるが、おおむね35施設程度を対象として検討を進めている。

**慰霊塔・慰霊祭・戦争資料について**

**質問** 満州開拓者殉難慰霊塔の土地の所有者は誰か。

**答弁** 昭和59年に市が如法寺から買取した。

**質問** 周辺の草刈りは施設管理者が行っているが、今

後も可能か。

**答弁** これからも継続していききたい。

**質問** 戦没軍人軍属並びに満州開拓殉難者慰霊祭が毎年5月15日に行われているが、その由来は何か。

**答弁** 確認できていない。

**質問** 招魂社の建設年、その管理、慰霊祭の実施形態等の経緯はどうか。

**答弁** 明治39年に忠魂殿として建立され、昭和51年に招魂社と改称し、昭和53年7月に寄附により全面改築された。維持管理は遺族会

で対応されている。慰霊祭は昭和29年から行われており、20年ほど前からは、中野市社会福祉協議会で運営

の事務局を担当している。

**質問** 遺族会の高齢化等を勘案し、今まで以上に行政が関わって維持管理をしてほしいのではないか。

**答弁** 諸般調査し検討を重ねた上で、何らかの対処をしていきたい。

**質問** 市で管理している戦争資料はどのくらいあり、どこが管理しているか。

**答弁** 市では平成15年8月まで「平和を願う戦争資料展」を16回にわたって開催してきたが、それ以降は実施していない。その際の資料のほとんどは関係者に返却している。教育委員会関係では、博物館に122点、図書館に戦前の小学校教科書

の一部が保管されており、昭和61年に「原爆資料展」を開催した。

**質問** 今後新たに戦争資料を図書館または博物館で収集し、節目の時期を選んで資料展を行ったらどうか。

**答弁** 博物館には現在も戦争中の資料が寄贈されている。今後も、満蒙開拓団に関する資料も含めて収集に努め、展示及び平和教育に活用したい。

その他の質問  
**都市間交流の充実について**  
**防災・減災対策としての路面下空洞調査について**  
**農業の6次産業化について**  
**自然保育の推進について**



**質問** 市民説明会で市民の理解は得られたか。  
**答弁** さまざまな意見をいただいている。すべての方に理解を得ることは難しいことから、全体の中で総合的に判断する。

**質問** 建設位置「南」について、変更の考えはないか。  
**答弁** 新庁舎建設整備基本計画にあるとおり、現庁舎南側に配置することとした。  
**質問** デザインビルド方式の導入について、メリットのデメリットは何か。  
**答弁** 施工技術の確保や工

**質問** 豊田支所、建て替え

**答弁** 市民スペースである。  
**質問** 基本設計業者に建築模型は要求したのか。  
**答弁** 要求しているが、今回の市民説明会には間に合わなかった。

**新市庁舎の建設について**

**質問** 凍結の考えはないか。  
**答弁** 今後、資金調達等を踏まえ、平成28年度中には方向性を出したい。凍結の考えはない。

**新市民会館建設について**

**質問** 基本設計の期限について慎重に検討すべきではないか。  
**答弁** 今後、意見を基に精査し、期限内に最終的な基本設計を策定することは可能と考える。



**中野市新庁舎建設整備基本設計(案)について**  
 堀内 臣夫



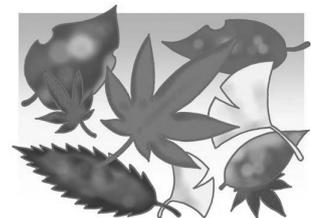
**中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針(案)について**  
 永沢 清生

**質問** 審議会の答申では、「学校のあり方の一つとして小中一貫教育という選択肢がある。小中学校間の交

流と連携がしやすく、教育面での効果が期待できる。施策推進にあたり、新しい形態の学校運営について、地域の実情や先行事例の成果を踏まえた研究と検討が望まれる。」としている。小中一貫校について審議会で十分検討していないこと

から、留意点としたもので積極的に進めていない。これまでに教育委員会で行った研究・検討の内容は。  
**答弁** 近隣の現状やカリキュラムも参考にしながら、時間をかけて議論してきた。

**質問** 延期の考えはないか。  
**答弁** 中野市新庁舎建設整備基本計画に沿って進める。延期の考えはない。



(注)  
**デザインビルド方式**  
 設計と施工を一括で発注する方式。発注者が設計要件や発注条件を整理したうえで、設計と施工に関する技術提案と価格を総合的に評価する入札方式により、設計と施工を一括して実施する事業者を決定するもの。施工技術の確保や工期の短縮、事業費の低減等の効果が期待できるとされている。



音楽・土人形をテーマとした  
特色ある中野市づくりについて

小林 忠一

**質問** 市長は、晋平及び辰之先生の偉業を称え、音楽都市構想を唱えている。

また、中野市の市民憲章の一項に「音楽を愛し 伝統を重んじ 文化の香る まちをつくります」とある。晋平及び辰之先生、偉大な両先生方のご生誕の地の周辺地域では、先生ゆかりのメロデーが流れ、先生を偲び、偉業を日常の生活の中に伝えている。

を求め、防災行政無線等で晋平・辰之メロデーを利用する考えはどうか。

**質問** 防災行政無線による晋平・辰之メロデーの利用は、豊田地域で実施している。中野地域は、市区長会から日野地区を限定とした定時音楽放送を試験的に実施。その結果から、中野地域全体を検討してほしい旨の提案があり、現在日野地区区長会と調整中である。

の来館者は、双方に興味を持つと推測する。両記念館の連携はどうか。

**質問** 両方に足を運んでいただけるよう共通パンフレット・案内看板でPR中。新庁舎のBGM・放送のメロデー利用は。

**質問** 建設整備基本設計案の中で検討する。

**質問** 駅や駅周辺・列車内での晋平メロデー放送は。

**質問** 駅周辺は、公の場であり、周辺への影響も考慮して、実施方法を研究する。発車・車内放送は、プログラムを変更することで可能であるが、費用が発生する。

**質問** 京都伏見系・愛知三河系の2系統の伝統技法での制作は、他に類を見ない。今後も本市の特色を積極的に情報発信していく。

**質問** 人形の点数の増加策や、各記念館・商店等での展示はどうか。

**質問** 今後、展示替えの際に参考とする。

**質問** 土人形収集家との協調はどうか。

**質問** 入館者数の推移は。

**質問** 開設初年度は、1万9千983人。平成5年度3万3千289人。その後は、2万



人弱で推移、平成19年度から減少、平成21年給付体験棟併設により微増に転じたが、その後も減少、現在9千人弱となっている。

その他の質問  
各観光施設間のアクセス対策について  
新市庁舎建設整備等について



中野市立小学校及び中学校  
適正規模等基本方針（案）  
について

阿部 光則

**質問** 基本方針案についての市民説明会の経過は。

**答弁** すでに7会場で実施

しているが、保護者、地域の方々等幅広い年齢層の方が参加。通学路の安全確保、

教員の目が届かない、地域の過疎化、多くの友達と切磋琢磨できる等の意見をいただいた。

**質問** ある教育委員が自身のフェイスブックに、説明会での市民の発言に対し、批判的な書き込みをなされた。言論の自由、民主主義、教育委員という立場の観点からどうかと思うが。

**答弁** 未確認だが事実であれば申し訳なくお詫びする。

**質問** 法案の審議入りから3か月余り、法案の違憲性・危険性が浮き彫りになっている。衆参両院で審議紛糾・中断が頻繁に起きている。審議が進めば進むほど国民

の反対が強まり、国会の周りや全国津々浦々で、立場の違いを超え老若男女多数が、法案反対の集会に集まっている。立憲主義・民主主義を守る立場から、法案反対の表明はどうか。

**答弁** 法案に対する政府の説明が不十分であり、国民の理解が進んでいない。法案反対の集会は、国民に理へ

解が得られていない現れで、慎重な議論が必要。憲法の解釈変更では、無理がある。

**農業・農協改革・TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について**

**質問** 農協法・農業委員会法・農地法等の一部を改正

する法案が成立した。自主・自立を基本とする協同組合の原則を踏みにじり農業委員会制度を骨抜きにし、企業による農業・農地支配を一層進めるなど、家族経営を基本にする日本農業と農村の将来に禍根を残すと危惧するがどうか。

**答弁** 来年4月から施行さ

れるが、農協が果たしている役割は、農業振興や地域経済への貢献等は今後とも大きい。市は大規模農家のみならず、家族農業等も含め、今後も支援していく。

**質問** 農業委員会の公選制廃止、定数の半減で、農地の番人である農業委員会の弱体化が危惧される。規制

緩和、市場原理が優先される中での法改正で、農業委員会は姿を変えるが、引き続き地域や地域農業を支える役割、仕組みを持つことが重要と思うがどうか。

**答弁** 以前からこの改正を危惧してきた。改正後も、地域の代表制を堅持し、女性や青年の登用、農地利用

最適化推進員の選任によって、農業者の代表として農業現場の生きた声を政策に反映できるようにしていく。

**その他の質問  
マイナンバー制度について  
地方創生について**

**新市庁舎建設について**



松野 繁 男

**質問** 新庁舎建設整備基本設計（案）について市民説明会が実施された。各会場の参加人数、出された意見、その感想はどうか。また、今後の進め方はどうか。

**答弁** 参加者は全体で108人と少なく残念だが、建設の賛否を含め多くの意見をいただいた。今後は、市民説明会、パブリックコメントの意見も含め、全体の中で進め方を総合的に判断する。

**質問** 建設に係る財源、今

後の財政推計を懸念する声もある。豊田会場で出された意見の中で、「子ども達に借金を背負わせるなら、しっかりと財政計画を説明し、一旦立ち止まって考える時間を親たちに与えてほしい」との発言に対する見解はどうか。

**答弁** 今後の市政のあり方、経済政策を含め、無理な対応ではない。あらゆる機会を通し理解を得たい。

後、市場原理が優先される中での法改正で、農業委員会は姿を変えるが、引き続き地域や地域農業を支える役割、仕組みを持つことが重要と思うがどうか。

**質問** 基本方針（案）がまとめられた背景と計画内容の根拠についてはどうか。

**答弁** 適正規模等審議会を設置し、約2年間審議した。その答申を尊重し、集団で学び合える教育環境の充実と、地域に根差した魅力ある教育の推進を基本とした。審議会設置の約2年前から教育懇話会を開き、教育環境の向上、整備、学力について話し合った。それがスタートと理解している。

**質問** 市長の考えはどうか。

**答弁** 軸になっているのは、集団の中で生きる力を付け

ること、地域に根差した教育という視点から見ると最善の策と考える。丁寧に説明して、理解していただくことが大切と考える。

**質問** 豊田地域の参加者が突出して多かった。これは豊田地域から学校がなくなるとの懸念からにほかならない。出された意見の取り扱いと、今後の進め方についてはどうか。

**答弁** 11月決定が早すぎるとの意見が多かった。これらを含め全説明会とパブリックコメントが終了した時点で決定していく。

**健康長寿のまち宣言について**

**質問** 健康寿命と平均寿命

の差異を少なくすることの最大のメリットは何か。

**答弁** 健康寿命が延びることと、医療や介護費用の削減につながるものが期待される。個人の生活の質が向上し、充実した人生を送ることができると考える。

**道路の整備促進について**

**質問** 上今井橋・安源寺信号間、また壁田・笠倉橋の完成時期はどうか。

**答弁** 国の予算の関係もあり、時期は明言できない。

**その他の質問  
中野市人口ビジョン（案）  
について  
中野市総合防災訓練について**

7 中野市議会だより

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案2件、予算案1件、決算認定2件、意見書案2件について9月11日、14日及び15日に審査しました。

関係して必要な事項を定める等の改正を行うもので、他の1件と同様に原案どおり可決されました。

予算案では、平成27年度中野市一般会計補正予算(第2号)について、国・県補助事業の確定等による事業費の変更及び地方債の補正

を行い補正額1億5千79万4千円を追加し、補正後の予算総額を202億2千732万8千円とするもので、歳入では地方交付税の減額、国庫支出金、県支出金の増額など。歳出では、総務費関係部分で、政策費を1億1千59万8千円の増額。消防費

では、国庫補助事業の不採択等により、1千278万8千円の減額。教育費では、小・中学校の図書購入費で300万円の増額をするもので原案どおり可決されました。決算認定では、一般会計1件、特別会計1件についていずれも原案どおり認定

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された予算案4件、決算認定4件、事件案1件について9月14日及び15日に審査しました。

主なものは、予算案では、平成27年度中野市一般会計補正予算(第2号)について、歳出のうち総務費関係部分では、戸籍住民基本台帳事務費として、備品購入費ほか190万5千円の増額等であり、このほかの特別会計補正予算3件と同様に可

決されました。決算認定では、一般会計1件、特別会計3件について、いずれも原案どおり認定されました。

事件案の健康長寿のまち宣言については、誰もが健康やかで生き生きと暮らすことができるよう、市民と行政が一体となり、健康寿命の延伸の推進を図るためのもので、全会一致で可決されました。

審査終了後、一部しゅん工の北信総合病院外来棟を視察しました。



総合待合



さくらホール

# 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案1件、予算案5件、決算認定6件、事件案1件について9月14日、15日及び16日に審査しました。



主なものは、条例案では、中野市営住宅等に関する条例の一部を改正する条例案で、原案どおり可決されました。

予算案では、平成27年度中野市一般会計補正予算(第2号)歳出のうち、総務費関係部分で、ふるさと振興基金積立金で3千660万7千円の減額などであり、このほかの特別会計補正予算4件と同様にいずれも原案どおり可決されました。

決算認定では、一般会計1件、特別会計4件、水道事業会計1件について、いずれも原案どおり認定されました。

また、事件案1件については、原案どおり可決されました。

審査終了後、JA中野市南部共選所の糖度センサー付き選果機と市道笠倉大沢線道路改良工事を視察しました。

◀ JA中野市南部共選所



◀ 市道笠倉大沢線改良工事



## ■意見書

〈可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

国民的合意のないままに安全保障体制の見直しを行わないよう求める意見書

政府は7月16日、衆議院本会議において安全保障関連法案を強行採決したが、多くの学識経験者が違憲との認識を示している中での



こうした行為は、民意と民主主義の原則を大きく踏みこじるものである。

日本国憲法第9条の下、これまで歴代政府が踏襲してきた安全保障体制を変えようとしているが、国民への丁寧な説明や国会での徹底審議を避け、結論ありきで法改正を強行しようとする政府の姿勢は到底容認で

きるものではない。立憲主義の日本において、憲法に定められた国のあり方を根本から変えようとするのであれば、憲法改正の手続きを経なければならぬことは自明である。

安倍首相が自ら「残念ながら国民の理解が得られていない」と述べているように、先ごろ共同通信社が実施した全国世論調査においても、安全保障関連法案の政府説明について「十分に説明しているとは思わぬ」との回答は80%を超え

ている。

国のあり方を問う重要な法案に対し、国民に十分な説明をすることなく強行採決に至る進め方は、明らかに民主主義に反しており、国民軽視といわざるを得ない。

よって、中野市議会は、国に対し、将来に禍根を残さないためにも地方議会の意見や世論に耳を傾けるとともに、国民的合意のないままに、安全保障体制の見直しを行わないことを強く求めるものである。



## TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉に関する意見書

7月28日からハワイで開催されたTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）閣僚会合は、大筋合意に至らずに閉幕した。

一方で2国間協議は大きく進展し、米国産米・豪州産米合わせて8万トンの輸入枠の設定をはじめ、牛肉の関税を38・5%から15%にかけて9%まで引き下げ、安い部位の豚肉の関税を1キログラムあたり最大482円から10年後に50円まで引き下げるとともに、乳製品の低関税の輸入枠を設定する



など農産品重要5品目すべてにおいて、日本側の譲歩が報道されている。いずれも米や牛・豚肉などを重要品目として「除外又は再協議」を求めた衆議院及び参議院の農林水産委員会での決議を遵守できないことが懸念される。

よって、中野市議会は、国に対し、下記の事項について強く要望するものである。

### 記

1 日米2国間協議での合意内容を公表し、衆議院及び参議院の農林水産委員会での決議を遵守すること

### 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書

森林は、食料や水、木材・エネルギー等の供給や二酸化炭素の吸収など、国民の安全・安心、国土・環境を守る重要な国民共通の財産である。

しかし、森林・林業・木



材関連産業の現状は、長期にわたる経済低迷の影響により、経営基盤が依然として脆弱であり、山村の疲弊も著しい状況にある。

こうした中、本年3月に「山村振興法」が改正され、「地域の特性を活かした産業の育成による就業機会の創出」や「定住の促進」等が新たに基本理念に盛り込まれた。

山村地域の再生、地域経済の活性化を図るためには、森林・林業施策の推進は急務であり、立地条件に対応した森林整備、間伐材等の利活用、適切な治山対策、鳥獣害対策の実施等が重要となっている。

よって、中野市議会は、国に対し、森林・林業・木材産業施策の積極的な展開

のため、下記事項の実現を強く要望するものである。

### 記

1 現行の「森林・林業基本計画」に基づく施策の着実な推進と平成28年度を始期とする「森林・林業基本計画」に、主伐・再造林の推進をはじめとする資源の循環利用に向けた具体的施策を反映させる等、地域林業における課題解消に向けた新たな政策の確立を図ること

2 「森林・林業基本計画」の着実な推進及び地球温暖化防止森林吸収源対策に係る平成28年度予算の確保を図ること

3 木材自給率50%以上の達成に向け、地域材を利用した公共建築物の木造化と新たな木材利用の創出及び木質バイオマス等の利用促進を図るとともに、地域材及び認証材の計画的供給・販売体制の確立を図ること

4 地域振興に係る政策の推進にあたっては、地方創生と連動した地域資源を活用した林業・木材関



連産業の振興による地域林業の確立、就業機会の増大と雇用確保、若者定住に向けた条件整備に係る具体的施策の確立を図ること。また、地域振興、林業における地域の事業体の育成・確保の見知から受注機会の増大に向けた施策を講じ地元雇用の安定確保を図ること

5 条件不利地域など適正な整備が進まない森林については、水源林造成事業等による公的森林整備の拡充を図ること。また、国有林野事業については、公益重視の管理経営と組織・技術力等を活用した民有林への支援を一層推進し、地域への貢献が果たせる体制の確立を図ること

■ 決議

金子高幸議員に対する議員辞職勧告決議

我々中野市議会議員は、議員として市民から負託を受けた立場と職責を十分認識し、法令、条例を遵守し、良識をもって市民の模範となるよう行動しなければならぬ。

とりわけ、男女共同参画社会基本法の理念に照らし、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によつて社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もつて男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」の実現に向けて、我々市議会議員が率先して高度の倫理性と高潔性を備え、自覚ある振る舞いをしなければならぬ。

しかしながら、金子高幸議員は、平成26年5月7日、自ら所属していた市議会任意会派懇親会の席上、酔余来賓として出席していた女

性職員に対して、その手を握り、肩を組む・背中から腰部をさする等の行為に及び、これを目撃した同席者からの注意にもかかわらず、しばらくの間これら行為を継続するなどした。また、同年12月12日、懇親会の席上、酔余、同席した女性議員のでん部を手で触るなどの行為に及んだ。

相手方の女性職員から、当該行為が「セクハラ」であつた旨の表明がされるに至っていること、当該行為が女性を著しく侮辱する行為であり、周囲に明らかに不快な思いを与える点において極めて不謹慎な行為であると言わざるを得ない。

また、金子高幸議員が女性議員及び家族に対して謝罪していること、相手方の女性議員からの被害申告に信用性に欠けるところがないことから、金子高幸議員が女性議員のでん部を手で触る行為に及んだこと、少なくとも女性議員が嫌がらせであると感じたことは明らかである。

以上からすれば金子高幸議員の各行為が、女性を辱め、周囲に明らかに不快感を与える極めて不謹慎な行為であると言わざるを得ない。

なお、金子高幸議員は、平成26年12月24日、所属の市議会任意会派からの処分がなされた際には、格別の反論は行わなかったが、その後も従前と同様に宴席に出席し、自らの各行為を否定する発言を行うなど、およそ反省・悔悟している者の行動とは思われない振る舞いを継続している。

また、平成27年3月20日及び平成27年6月23日、当該議会において議員辞職勧告決議が可決されたにもかかわらず、金子高幸議員が市議会議員の職を辞することはなく、誠意ある態度もとられていない。

これらの行動は、良識ある行動を取らなければならぬ市議会議員としてあるまじき行為であり、市民の信頼を裏切り、中野市議会の名誉を著しく傷つけるもので、断じて許すこととはできない。

よつて、中野市議会は、金子高幸議員に自らの良識と判断において、速やかに市議会議員の職を辞するよう強く求めることを決議する。

ご覧下さい

## 議会インターネット録画中継

市議会では、議会改革の一つとして、議会の見える化と議会に関心を持っていただくため、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネットの録画中継は、パソコンからインターネットに接続できる環境があれば、いつでも本会議の様子を視聴することができます。

市議会のホームページから、議会中継にアクセスしていただき、ぜひご覧ください。

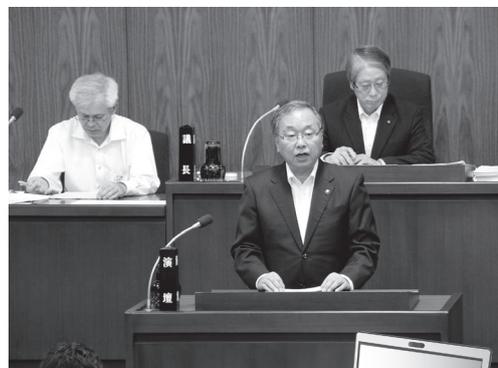
### アクセス方法

中野市議会ホームページから議会中継にアクセス（パソコンのみ閲覧可能）

中野市議会ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/gikai/>

配信している議会 過去2年間分（随時更新）

配信時期 各定例会・臨時会終了後、約1週間後



表紙の写真

中野市合併10周年  
記念式典

記念式典

平成17年4月1日、旧中野市と旧豊田村が合併し、新「中野市」が誕生。中野市は、平成27年度に合併10周年を迎えました。

10月7日には、中野市合併10周年記念式典が市民会

館ホールで開催され、感謝状の贈呈のほか、麻衣さんのミニコンサートも行われ、10周年を盛大に祝いました。また、式典終了後には、徳川宗家18代当主徳川恒孝氏講演会も同会場で開催されました。

今年度は、節目を記念してこのほかにも、さまざまな合併10周年記念事業が行われています。



▲徳川宗家18代当主徳川恒孝氏講演会



中野市合併10周年



▲10月7日に行われた中野市合併10周年自治功労物故者追悼式



▲記念式典での感謝状の贈呈

第4代前期

議会だより

編集委員会名簿

(順不同)

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員長   | 武田 俊道 |
| 副委員長  | 深尾 智計 |
| 委員    | 保科 政次 |
| 青木 正道 | 金子 高幸 |
| 小林 忠一 | 阿部 光則 |
| 原澤 年秋 | 清水 正男 |
| 町田 博文 |       |



あとがき

9月1日、科野小学校グラウンドを主会場に市総合防災訓練が開催されました。科野地区の皆様、それぞれの関係機関や団体の参加のもと、実践的な訓練が行われました。

今年も各地で地震、台風、水害、火山噴火等々の災害が発生しています。地球温暖化により、多くの台風が発生し、被害が心配されます。

9月10日には、関東から東北にかけて、日量500mmを超える記録的な大雨が降り、大きな被害が発生しました。線状降水帯は、どこでも条件が重なれば発生し、災害を引き起こす要因となります。

9月から防災・災害に関する情報や防災行政無線の放送内容が受け取れる登録型配信メールサービス「中野市すぐメール」の運用が開始されました。このサービスは、登録した携帯電話などに最新の防災情報などが配信されるサービスです。

災害時、身の安全は自身で守ること、今一度防災マップの確認を…。